

平成30年度事業評価

課別評価シート

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

[スポーツ振興]

[障害者福祉]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移)
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
 - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
 - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
 - 新規事業の必要性
 - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
 - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
 - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
 - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

【スポーツ振興】

1 中間アウトカムと計画事業の一覧	P.2
2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価	P.3
3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価	P.5
4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価	P.6

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【スポーツ振興】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	3-5 スポーツ振興
将来像	だれもが、いつでも、安全にスポーツに親しめるまち

中間アウトカム (A)
区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている

中間アウトカム (B)
多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる

中間アウトカム (C)
スポーツ活動を支える環境が整っている

基本構想実施計画事業	
①	スポーツ関係団体等との協働事業の推進 スポーツ振興
②	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進 スポーツ振興

基本構想実施計画事業	
①	スポーツ交流ひろば(スポーツ開放)事業 スポーツ振興
②	スポーツセンターの改修 再掲 スポーツ振興

基本構想実施計画事業	
①	スポーツセンターの改修 スポーツ振興
②	文京スポーツボランティア事業 スポーツ振興
③	スポーツ指導者の育成と活用 スポーツ振興
④	スポーツ関係団体等との協働事業の推進 再掲 スポーツ振興

2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

【スポーツ振興】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（スポーツ振興課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (A) 区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	スポーツ関係団体等との協働事業の推進		各種団体の特性を生かして、スポーツの魅力が伝えられている				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	協働事業	事業	23			23	30
事業費(千円)			1,034				
行政コスト(千円)			8,621				
所要人員			1,154				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					
②	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進		東京2020大会への気運が高まり、スポーツへの関心が高まっている				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	気運醸成及びカウントダウン等イベント	回	23			23	75
	こども新聞	発行回数	3			3	10
事業費(千円)			17,365				
行政コスト(千円)			62,276				
所要人員			4,559				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A)	区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている	
課題等を有する計画事業の有無	有	

事業名 及び 事業目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進 東京2020大会への気運が高まり、スポーツへの関心が高まっている	方向性 の 類型	【拡充】
課題及び 方向性	<p>様々な事業を通じて、多くの方々にパラスポーツの周知が進みました。引き続き、周知・理解促進に努めていきます。</p> <p>「こども新聞」は当初予定とおり3回発行し、区内約10万世帯への配付を行うことができましたが、さらなる紙面の充実に努めていきます。</p>		

3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

【スポーツ振興】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（スポーツ振興課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (B) **多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	スポーツ交流ひろば(スポーツ開放)事業		身近な小・中学校施設でスポーツを楽しむことができる				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	スポーツ交流ひろば	人	32,293			32,293	90,000
	学校プール開放	人	2,950			2,950	7,000
事業費(千円)			12,529				
行政コスト(千円)			15,310				
所要人員			0.450				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

②	スポーツセンターの改修	安全で快適なスポーツ環境が整備されている
※「3-5 スポーツ振興」の「中間アウトカム(C)」に実施状況が記載されます。		

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (B) **多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる**

課題等を有する計画事業の有無

有

事業名及び事業目的	スポーツ交流ひろば(スポーツ開放)事業 身近な小・中学校施設でスポーツを楽しむことができる	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	安定的に事業を運営するため、新規指導員の確保が必要です。引き続き、関係団体等に積極的に働きかけ、指導員の推薦を依頼します。		

事業名及び事業目的	スポーツセンターの改修 安全で快適なスポーツ環境が整備されている	方向性の類型	【終了確定】
課題及び方向性	スポーツセンターは、全館空調の導入やバリアフリー化の改修工事(2018年6月に完了)により、安全性・快適性が向上しました。		

4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

【スポーツ振興】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（スポーツ振興課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (C) スポーツ活動を支える環境が整っている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	スポーツセンターの改修		安全で快適なスポーツ環境が整備されている				
			H29	H30	H31		
	主な取組	内装解体工事、外壁の補修及び塗装工事が終了し、引き続き天井、壁、床などの内装工事及び外構工事を進めました。					
	事業費(千円)	305,968					
	行政コスト(千円)	13,002					
	所要人員	1.869					
	進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				
②	文京スポーツボランティア事業		スポーツボランティアが育成され、様々な場で活動している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
	主な取組	ボランティア従事者数	人	320		320	4,730
		養成講座開催数	回	5		5	24
		事業費(千円)		1,969			
		行政コスト(千円)		7,348			
		所要人員		0.806			
	進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載 事業ごとのボランティア受入可能数が少なかったなどの理由により、ボランティア従事者数が伸びませんでした。今後は、他団体や他区への派遣により、活動できる事業を確保していく必要があります。				

No.	事業名		事業目的				
③	スポーツ指導者の育成と活用		スポーツ指導者が地域住民主体のスポーツ活動を支えている				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	指導者講習会の実施数	回	3			3	9
	地域への指導者派遣数	回	126			126	390
	事業費(千円)		564				
	行政コスト(千円)		4,117				
所要人員		0.521					
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

④	スポーツ関係団体等との協働事業の推進	各種団体との効果的な協力体制が整っている
※「3-5 スポーツ振興」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。		

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム(C)	スポーツ活動を支える環境が整っている	
課題等を有する計画事業の有無	有	

事業名及び事業目的	スポーツセンターの改修 安全で快適なスポーツ環境が整備されている	方向性の類型	【終了確定】
課題及び方向性	スポーツセンターは、全館空調の導入やバリアフリー化の改修工事(2018年6月に完了)により、安全性・快適性が向上しました。		

事業名及び事業目的	文京スポーツボランティア事業 スポーツボランティアが育成され、様々な場で活動している	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	事業ごとのボランティア受入可能数が少なかった等の理由により、ボランティア従事者数が伸びませんでした。今後は、年間を通じてのボランティア募集情報の事前提供や、区主催事業以外へのボランティア派遣を積極的に行い、従事者数を増やしていきます。		

【障害者福祉】

- | | |
|------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.9 |
| 2 中間アウトカム(C)に関する事業の実施状況と自己評価 | P.10 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【障害者福祉】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもがお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

中間アウトカム (C)
障害者が地域で交流を深めている

基本構想実施計画事業	
① 文京スポーツボランティア事業	再掲 スポーツ振興
ふれあいいきいきサロンへの助成	再掲 福祉政策
障害者事業を通じた地域交流	障害福祉

2 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【アカデミー推進部 スポーツ振興課】

【障害者福祉】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（スポーツ振興課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (C) **障害者が地域で交流を深めている**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	文京スポーツボランティア事業	障害者のスポーツ実施率が向上している
※「3-5 スポーツ振興」の「中間アウトカム(C)」に実施状況が記載されます。		

No.	事業名	事業目的
他課	ふれあいいいききサロンへの助成	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている
他課	障害者事業を通じた地域交流	心身障害者・児が、さまざまな地域活動に参画している

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (C) **障害者が地域で交流を深めている**

課題等を有する計画事業の有無

有

事業名 及び 事業目的	事業名 及び 事業目的	方向性 の類型	【改善・見直し】
	文京スポーツボランティア事業 障害者のスポーツ実施率が向上している		
課題及び 方向性	障害者のスポーツボランティアへの登録制度をより広く周知し、登録者を増やしていくとともに従事可能な事業を確保していきます。		

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分